

# 職員の農業体験スタート



提供する栽培セットとプロジェクトメンバー

## JA相模原市

【相模原】JA相模原市は、JA職員の農業体験「あぐりちゃんじ」をスタートした。背景には、農業を

経験・体験したことのない職員の増加がある。そこで、JA職員自らの農業に対する意識を向上しようと、若

手職員らによる職場改善プロジェクトチームが課題解決に乗り出した。

「あぐりちゃんじ」を通じて、職員の農業知識向上や組合員とのコミュニケーション活性化、他金融機関とJAとの差別化など

を目指す。

取り組みは拳手制で、参加の有無は支店に委ねる。資材手配などは、本部となる同JA総務部人事課がサポート。本部からチャレングシの内容は提案するものの、支店からの自由な提案・実践も可能だ。

最初の取り組みとして、トマトやナスなど夏野菜のプランター栽培を提案。16日には、提案に賛同した5支店が相模原市中央区のJA本店を訪れ、苗や肥料などの資材を受け取った。各支店に持ち帰り、それぞれ工夫しながら栽培する予定だ。

職場改善プロジェクトリーダーの野中寛之

係長は「JA職員自らの農業意識向上の第一歩として、まずは取り組みやすいプランター栽培を提案した。農業のプロである組合員にアドバイスをもらい、組合員と職員、また職員間のコミュニケーションを深めながら、栽培を進めてほしい」と意気込んでいる。